

進路ニュース

平成25年7月23日
鳥取県立白兔養護学校
進路担当

平成25年度 第2号

例年より早い梅雨明けに加え、毎日暑い日々が続いていますが、暑い中でも児童生徒は元気いっぱい学校生活を送っています。今回の進路ニュースは、主に障害者技能大会・就労促進セミナーについてお送りします。

第30回鳥取県障害者技能競技大会

第30回鳥取県障害者技能競技大会が7月12日（金）に鳥取県福祉人材研修センターで行われました。本校の高等部からもオフィスアシスタントの部に3年生2名、ビルクリーニングの部に2年生2名と3年生1名、データ入力のに1年生1名と3年生2名が参加しました。

この8名は約1ヶ月前から学習時間や休憩時間を使って本番さながらの練習を重ねてきました。初めはなかなか思うようにできなかったのが、だんだんと作業時間が速くなったり丁寧に作業できるようになったりして自信を持って大会当日を迎えました。

当日は、特別支援学校や作業所、事業所からたくさん参加されていましたが、オフィスアシスタントの部で、高等部3年の川下亜佑美さんが金賞を取る快挙を成し遂げた他多くの生徒が入賞を果たしました。また、入所できなかった生徒も練習の成果を十分に発揮することができました。

これからも日々の作業や活動を大切に、技能や意欲の向上を図っていききたいと思います。
〈文責：塚田 政志〉

障害者技能大会 成績

オフィスアシスタント	金賞	川下 亜佑美
	銅賞	田中 美沙
パソコンデータ入力	銀賞	南 昌也
	銅賞	島木 智也
ビルクリーニング	銅賞	山根 圭亮



就労促進セミナー

7月12日（金）に東部地区5校の特別支援学校が共催し、鳥取養護学校を会場として、平成25年度東部地区特別支援学校就労促進セミナーを開催しました。この会は特別支援学校の生徒や授業の様子を事業所の方に知っていただき、障がい者への理解啓発、就労促進につながることを目的としています。

「各校の学校紹介」、「各校生徒による意見発表」、「卒業生による意見発表」、「障がい者雇用事業所と関係諸機関のパネルディスカッション」が行われました。事業所、保護者、作業所関係者等、総参加者数は約207名で、36社の企業の方に参加していただきました。

「生徒による意見発表」では、高等部3年生池長 歩さんが産業現場等における実習で学んだこと、将来の仕事に対する夢等を発表し、参加者から大きな拍手をいただきました。「パネルディスカッション」では、各社で雇用されている障がいのある方の働きぶりや会社の支援体制、関係諸機関との連携等を語っていただきました。

参加企業の方から、「特別支援学校や障がい者について理解が深まった」、「環境さえ整えば、企業就労する力は生徒たちは十分にある」等の感想をいただきました。

〈文責：山根 孝子〉



☆キャリア教育について ①☆

○日本全国学校種を問わず行われている「キャリア教育」について、白兔養護学校での取り組みを、今後進路ニュースで何号かにわたって説明していきます。

○「キャリア教育」って何？

児童生徒一人一人に、望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。（文部科学省）

◇職業人になっていくための教育

◇進路を選んでいく能力を育てる教育

◇家庭、地域社会の一員として役割・責任を果たしていくために必要な意欲・態度を育てる教育

……などと言われていますが、まとめて言うと

「児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てる教育」です。

〈文責 森 茂雄〉

